
「胎盤を用いた常位胎盤早期剥離の遺伝学的解析研究」に関するお知らせ

このたび、当院で分娩をされた患者さんの検体を用いた以下の研究を実施いたします。
本研究は、埼玉医科大学総合医療センター倫理委員会の承認を得て、病院長による許可のもと行うものです。

本研究では、患者さんに追加でご負担をお願いすることはありませんが、残余検体やカルテ情報等を使用することに賛成でない場合、あるいはご質問がある場合は、患者さんご自身でもその代理人の方でも結構ですので、問い合わせ先までお申し出ください。お申し出いただいても不利益になることは一切ありません。

研究の概要について

1. 研究の対象となる方

2014年1月1日から2024年4月30日の期間に埼玉医科大学総合医療センター産婦人科を受診し、常位胎盤早期剥離と診断され、分娩となった患者さんを対象としております。

2. 研究の目的

常位胎盤早期剥離の胎盤とそうでない胎盤おける遺伝子発現の違いについての検討

3. 研究期間

病院長の許可後～2029年3月31日

4. 利用または提供の開始予定日

2024年6月6日

開始予定日以降も研究への利用停止などのお申し出に対応いたします。

研究に用いる試料・情報について

1. 試料・情報の内容

胎盤、検査データ、診療記録

この研究で得られた患者さんの情報は、埼玉医科大学総合医療センター産婦人科において、研究責任者である佐藤 はづきが、個人が特定できないように加工した上で管理いたします。そのため、患者さんのプライバシーが侵害される心配はありません。

2. 試料・情報の取得方法

常位胎盤早期剥離と診断された患者さんの分娩をした際に生じた胎盤、検査データおよび診療記録を用います。

3. 試料・情報を利用する者（研究実施機関）

・埼玉医科大学総合医療センター総合周産期母子医療センター母体胎児部門

佐藤 はづき（研究責任者）

4. 試料・情報の管理責任者

試料・情報の授受を行う場合

<提供元機関> 埼玉医科大学総合医療センター 病院長 別宮 好文

<提供先機関> タカラバイオ株式会社

5. 試料・情報の提供方法等について

・<試料>人が特定できないように加工した検体を専用容器に封入し、追跡可能な輸送方法により、解析業務を委託しているタカラバイオ株式会社へ送付します。

お問い合わせについて

ご自身の検体やカルテ情報等を利用されたくない場合、あるいはご質問がある場合には、以下の連絡先までご連絡ください。

利用されたくない旨のご連絡をいただいた場合は、研究に用いられることはありません。

ただし、ご連絡いただいた時点で、既に研究結果が論文などで公表されていた場合、結果などを廃棄することができないことがありますので、ご了承ください。

埼玉医科大学総合医療センター 総合周産期母子医療センター母体胎児部門 佐藤 はづき

住所：〒350-8550 埼玉県川越市鴨田 1981

電話：049-228-3681（土日祝日を除く 9：00～17：00）

○研究課題名：胎盤を用いた常位胎盤早期剥離の遺伝学的解析研究

○研究責任者：埼玉医科大学総合医療センター総合周産期母子医療センター母体胎児部門
佐藤 はづき